

第14回

学生が
選んだ

授業からもっと学びたい、もっと学んでほしい
—そんな学生と教員の思いを近づけるために

「ベストティーチャー」発表！

2019年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学科で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。2020年度は、原則、遠隔授業となりましたので、例年行っている教職員への授業公開はできませんが、選ばれた先生方の声をお届けいたします。



Goran VAAGE 先生

● 英文学科

なるべく学生の立場に立ち、分かりやすい授業をこころがけています。

* 担当科目: Sociolinguistics Theory and Practice II など



北川 将之 先生

● 総合文化学科

現場での人との関わりが新たな知見をもたらしてくれます。

* 担当科目: 政治学、国際関係論 など



島崎 徹 先生

● 音楽学科

芸術を学ぶということは、先生に言われた通りにすることではなく、自分自身の美を探求することです。

* 担当科目: アナライズクラスI,II,III,IVなど



若佐 美奈子 先生

● 心理・行動科学科

私は、授業も臨床も、相互交流を大切にしています。

* 担当科目: 演習I,II など



野寄 玲児 先生

● 環境・バイオサイエンス学科

この恵まれた自然環境の中で、自然や生命のことはもちろん、芸術や文学などを学ぶのは大変意義深いことです。

* 担当科目: 自然観察入門など

先生方のコメントは、裏面をご覧ください。

私

の

授

業

風

景

学
生
が
選
ん
だ
ベ
ス
ト
テ
ィ
ー
チ
ャ
ー

第
14
回
神
戸
女
学
院
大
学

2019年度の「学生による授業評価アンケート」の結果から、各学科で総合的評価がもっとも高い先生を選びました。神戸女学院大学では、授業からもっと学びたい、もっと学んでほしい、学生と教員のそんな思いを近づけることをめざしています。

神戸女学院大学 FDセンター(学長室)

英文学科
Goran VAAGE 先生



優れた先生を数々持つ英文学科から、学生によってベストティーチャーとして選ばれることは教える者としてとても光栄で嬉しい限りです。特別な授業論は持っていないのですが、なるべく学生の立場に立ち、分かりやすい授業をこころがけています。専門は言語学ですが、複雑な理論より、これからの人生にも役に立つ構造主義の考え方を主に教えています。

総合文化学科
北川 将之 先生



現代インドの諸問題を政治学や国際関係論の視点から読み解くのが、私の研究関心です。インドは世界最大の民主主義国です。インドの市民は、時として社会問題(カーストやジェンダーに基づく差別など)に不満を強め、大規模な抗議デモを実施することがあります。海外に移住したインド人も多いため、政府への抗議活動には国際的な連携が生じることもあります。こうした話は遠い国の出来事ではありますが、インド人の知り合いができれば、きっと身近な問題と感じられるようになると思います。

音楽学科
島崎 徹 先生



今私たちを取り巻く環境は、何かすぐに結果を出さなければならないような気持ちにさせられてしまうことが多々ありますが、時間をかけなければ辿り着けない場所や心境というのが芸術の道にはあります。芸術を学ぶということは、先生に言われた通りにすることではなく、自分自身の美を探求することです。日々のレッスンの中で卓越した技術と柔らかい感性の融合を目指して、焦らず怠らず。

心理・行動科学科
若佐 美奈子 先生



私は、授業も臨床も、相互交流を大切にしています。交流によって、緊張やドキドキが生まれ、より深い理解や新たな知に向かえるからです。皆さんの「うーん、ちょっとわからないな」「え、そうなの?」「意外だな〜」「調べてみよう!」という表情や呟きは、素晴らしい好奇心の表れだと思っています。臨床現場には、心理援助を必要とされている方がたくさんおられます。その方々のこころを理解するための理論や方法を、皆さんの瑞々しく若々しい感性で存分に学んでくださいね。

環境・バイオサイエンス学科
野崎 玲児 先生



長くこの大学の教壇に立っていますが、ベストティーチャーは初めてでたいへん光栄です。私は、岡田山キャンパスは全国で一番自然豊かなキャンパスだと思っています。この恵まれた自然環境の中で、自然や生命のことはもちろん、芸術や文学などを学ぶのは大変意義深いことです。今年はCOVID-19の影響で遠隔での授業を余儀なくされていますが、自然を実際に見て、体験してもらうことの大切さを改めて感じています。皆さんがこの美しいキャンパスで学べる日が、一日も早く来ることを願っています。いつか授業でお会いしましょう。